

		目指すべき将来像（地区のあるべき姿）	地区の主要課題（将来像とのギャップ）	目指すべき将来像の実現に向けての事業提案		
①	田無町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○困ったときに支えたい、支えられたまちづくり</li> <li>・訪問医が整い、堂々と認知症と言える地域</li> <li>・住民同士が共同して生きていけるまち</li> <li>・高齢者が安心して生活できるまち</li> <li>・相談しやすい、協力したい人が協力しやすいまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の居場所がある、増える</li> <li>・障害、年齢など関係なく、安心して生活できる</li> <li>・自治会、町内会とのつながり</li> <li>・入所・入居施設が充足している</li> <li>・買い物に行く場所がある</li> <li>・巡回販売のサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①医療・介護の基盤整備の遅れ</li> <li>②地域のつながりを深める、一人一人の意識改革</li> <li>③災害時要援護者支援体制の構築</li> <li>④関係機関とのネットワークが不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①医療・介護の基盤整備の遅れ</li> <li>・訪問診療医の確保事業</li> <li>・訪問診療、訪問看護マネジメントセンター</li> <li>②地域のつながりを深める、一人一人の意識改革</li> <li>・全小中学校での認サボ開催</li> <li>・地域のつながり力を深める、居場所(施設)の提供</li> </ul>	
	泉町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に愛着を持つことのできる、自助・互助のあるまちづくり</li> <li>・生活習慣病の人たちへの教育</li> <li>・心身共に健全な高齢者があふれている</li> <li>・相談すると、解決の糸口があるということを皆がわかっている地域</li> <li>・誰かとつながっている、孤立させない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自身の意識が高くなり、自立した人が増える、自助の意識がある</li> <li>・地域の誰もが高齢者を優しく見守れる</li> <li>・多世代交流ができる場が身近にある</li> <li>・多職種との連携。配食、コンビニ等、民間企業とのコラボ</li> <li>・安全な町、道路、交通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社会資源の問題</li> <li>・使える社会資源が少ない</li> <li>・自治会、町会、ミニデイの高齢化</li> <li>・移動手段がない</li> <li>・地域の高齢者の健康状態がわからない</li> <li>②自助・互助の教育</li> <li>・西東京市の抱える問題を住民が知らない</li> <li>・地域住民の自助・互助の意識が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育体制が不十分</li> <li>③交流ネットワーク</li> <li>・泉小跡地を活用</li> <li>・多世代交流の場が少ない</li> <li>・地域のつながりがある社協との連携</li> <li>④地域区分</li> <li>・北原町が取り残されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社会資源の問題</li> <li>・コンビニネットワークづくり</li> <li>②自助・互助の教育</li> <li>・住民意識改革事業</li> <li>③交流ネットワーク</li> <li>・ネットワークの再構築</li> <li>・泉小跡地の活用事業</li> <li>④地域区分 ・地域区分の見直し事業</li> </ul>
③	新町	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆孤立している人を減らし、つながり合い、ささえあう地域をつくろう</li> <li>○自治会活動の活発化</li> <li>・自治会対抗の運動会ができる地域づくり</li> <li>・身を守るために自分のことをオープンにすることが当たり前になる</li> <li>・小さい単位での自治会的活動やつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティアの工夫、増大</li> <li>・介護の担い手、子どもの見守り等を地域住民でできる</li> <li>・ちょっとした頼みごと・助けを近所内で解決できる</li> <li>○徘徊高齢者へのシステムづくり、閉じこもりの発掘・予防ができる</li> <li>○災害時の対応、取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動の推進</li> <li>・元気高齢者や市民の組織化が不十分</li> <li>・地域にある集会所など場所の活用が不十分</li> <li>・個人情報をごとまで共有できるか</li> <li>・高齢者の社会的役割の確認</li> <li>・高齢者の方が安く外食できるシステム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確実に安否確認できるシステム作り</li> <li>・認知症見守りのシステム、理解促進</li> <li>・宅配巡回商店が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者と援護者の組合せを確実に進める</li> <li>・買物お届けボランティアの設立</li> <li>・認知症対応ボランティアの創設</li> <li>・閉じこもり予防(独居)のため、食堂に行ったら美味しい昼食が食べられる(月4回など)</li> </ul>
	向台町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的活動が活発なまち</li> <li>・世代間交流の盛んなまち、老若男女つながりのあるまち</li> <li>・買物サービスの充実(乗合バスなど)</li> <li>・元気高齢者が教室を開いている</li> <li>・お金で買わない援助(共助、互助)</li> <li>・共に支え合えるまち(防災も含め)、共助、互助、自助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症徘徊者も小さい子どもたちも、安心して外出できるまち</li> <li>・医療、介護、住まいの連携(地域ケアシステム)がスムーズにとれるまち</li> <li>・サロン、集う場所で様々な人々が情報交換できるまち</li> <li>・災害時、緊急時に不明者が出ないまちづくり</li> <li>・ボランティア活動が盛んなまち</li> <li>・歩いて15分以内に集えるサロンがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①交流の機会・場→連携の仕組み</li> <li>・高齢者と若い世代との交流</li> <li>・地域住民から代表者が出てくる(役割分担)</li> <li>・自治会活動のアップ</li> <li>・若い世帯への参加の促し、小中学校への周知</li> <li>・サロンづくりに興味のある人を発掘する</li> <li>・他機関連携や異業種とのコラボに取組み、単発の講座等をきっかけに自発的なグループ発生までの支援を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②防災時の仕組みが不十分</li> <li>・ネットワークづくりにおける個人情報の問題</li> <li>・個人情報に関する要綱の整備、庁内連携や他機関連携により分担を整理</li> <li>・地域資源などのマップづくり</li> <li>③支え合いのための教育</li> <li>・小中学校生徒への教育の場</li> <li>・認知症を分かってもらえる場の整備</li> <li>④買物支援</li> <li>・買物ができるシステムづくり、宅配サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①交流の機会・場</li> <li>・市民まつりや介護の日の企画への小・中・高校生の参加</li> <li>・商店会の空き店舗を利用する(サロン)</li> <li>②防災時の仕組みが不十分</li> <li>・生活福祉課や協働コミュニティ課、危機管理室での蓄積を共有する連絡会議</li> <li>③支え合いのための教育</li> <li>・地域で暮らしていくために自分ができること</li> <li>④買物支援</li> <li>・店舗と地域間のピストンバス、商店による買物送迎サービス</li> </ul>
⑤	西原町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民同士の互助の確立、実施</li> <li>・眠っている人材が活用できるシステム</li> <li>・有償ボランティア、コミュニティビジネス</li> <li>・しゃべり場がいっぱいあるまち</li> <li>・いこいがあるまち</li> <li>・おせっかいおばさん、おじさんがいっぱいいるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声を上げれば必ず応えてくれる、声を上げなくても気付いてもらえる</li> <li>・少しずつささえあえるまち</li> <li>・退職後が楽しいまち</li> <li>・遠くの親戚より近くの他人が支えてくれるまち</li> <li>・高齢者に合わせた、参加しやすい集まり</li> <li>・気軽に利用できる場があちこちにある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆広い予防(困難化しない、させない)</li> <li>①閉じこもり</li> <li>・自転車だめだと外出できない</li> <li>・移動手段</li> <li>②ボランティア、互助</li> <li>・意識の教育</li> <li>・ボランティアのシステム、活用の仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③つながり</li> <li>・行政内、異世代</li> <li>・やりたい人とやってほしい人のつながり</li> <li>・自治会</li> <li>・包括職員が身近な存在になる、支え合い、未然防止や予防につながる</li> <li>④場所(居場所、既存の場所の活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存資源の多様な活用(バス、施設)</li> <li>・有償ボランティアのシステム構築</li> <li>・ネットワーク構築事業(横のつながり)</li> </ul>
	緑町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の将来像を描いて生活できるまち</li> <li>○コミュニティ</li> <li>・子どもから高齢者までつながる社会</li> <li>・生きがいと役割をみんなが持つ社会</li> <li>・SOSがどこにでも出せるネットワーク</li> <li>・住民組織ができあがり、還元性のある有償ボランティアが成り立つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハード面</li> <li>・公共交通機関(はなバス等)を充実し、高齢者や子どものいる家庭等の足を確保、援助しやすいまち</li> <li>・車椅子でもベビーカーでも移動できるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個人情報</li> <li>・個人情報の壁を一部取り払う</li> <li>・認知症など検索ネットワーク</li> <li>②ネットワークづくり</li> <li>・各種公的なサービス活動につながりがない</li> <li>・行政が本気になっていない、創造性がない</li> <li>・他機関同士、お互いの役割を理解できているか疑問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ボランティア力の育成</li> <li>・社会的役割や活動に結びつけるきっかけ</li> <li>・団塊の世代を活かす働きかけが必要</li> <li>・参加して楽しめる活動ができていない</li> <li>④包括の強化</li> <li>・地域へアウトリーチする必要がある</li> <li>・多くの動きが必要だが、包括職員が少ない</li> <li>・自治会の実情が不明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個人情報</li> <li>・事業者間の個人情報公開事業</li> <li>・徘徊等認知症の早い発見ができるための事業</li> <li>②ネットワークづくり</li> <li>③ボランティア力の育成</li> <li>・リタイア人材発掘事業、幅広いボランティアの発掘</li> <li>・幼少期からのボランティア教育事業</li> <li>④包括の強化 ・町別高齢者生活把握事業</li> </ul>
⑦	富士町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民と見守り活動と地域づくり、認知症の方が地域で安心して暮らしていくために</li> <li>・在宅で安心して終末を迎えることができる地域</li> <li>・地域交流が盛んになり、助け合いができる</li> <li>・認知症になっても生活できる</li> <li>・独りでも安心して生活できる</li> <li>・施設待機者ゼロ</li> <li>・福祉会館等、気軽に利用できる場所がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業の充実、常設型で実施</li> <li>・往診機関の増加、在宅医療のサポート</li> <li>・若い世代が地域活動に参加できる</li> <li>・サークル、見守り、シルバー人材の活性化</li> <li>・包括の周知、相談窓口として認知されている</li> <li>・高齢者の情報(認知症、要介護)を市や包括でデータ化し、見守り・サービスへつなげる</li> <li>・福祉人材の育成、サービスの質と量の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①独居高齢者への実態へのアプローチ、行う機会を増やす、高齢者の把握介入</li> <li>②包括のPR、高齢者とその家族への効果的な情報発信</li> <li>③高齢者への社会参加のアプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④認知症の予防も含めて「病気」としての知識を得る機会をつくる</li> <li>⑤業務内容の見直し</li> <li>⑥ネットワークの構築、人材確保(福祉、包括)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者の把握、データベース化</li> <li>・買物支援事業</li> <li>・「いきいきプラン事業」(理想とする高齢者像を個人で計画化)</li> <li>・包括のPR</li> </ul>
	栄町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お隣さん、住民同士の顔見知りが増える</li> <li>・お互いさま精神を持って生活をしていく</li> <li>・おせっかいな人を増やす</li> <li>・子どもから高齢者まで一体的に支援の輪が確立できる地区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑から地域支援の輪が広がり、ビジネスにも有効活用できるまち</li> <li>・防災体制が確立し安心できるまち</li> <li>・同じ趣味の人が集まれる、いつでも楽しめるまち</li> <li>・若い世代との交流をしていく</li> <li>・世代関係なく気軽に集まれる場ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多世代の交流の場の発掘、住民同士のつながる場の発掘</li> <li>②移動手段の確保、医療機関の解消(はなバスの路線の開設)</li> <li>③買物支援、移動販売</li> <li>④畑を活用したビジネス</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・はなバスの新規路線開拓事業</li> <li>・学校や企業を有効活用する、料理教室</li> <li>・体操教室(介護予防)</li> </ul>

